

Headway Music Audio EDB-2 H.E

Sheer Acoustic Equalizer Direct Blend



取扱説明書

はじめに.....	3
特徴.....	3
注意.....	4
電源のオン/オフ、その他.....	4
EDB-2 H.E 各部の名称・前面(1).....	6
EDB-2 H.E 各部の名称・前面(2).....	7
EDB-2 H.E 各部の名称・前面(3).....	8
EDB-2 H.E 各部の名称(4)背面.....	9
シチュエーション別使用法.....	10
(1) ギター弾き語りライブ.....	10
(2) エレアコこだわりサウンドメイキング.....	11
(3) ウッドベースのサウンドをグレードアップ！.....	12
(4) エレキベースの持ち替えを楽に、そしてサウンドに妥協なく！.....	13
(5) 宅録の音、もっと良くしたい！.....	14
各部の名称と機能.....	15
入力端子.....	15
出力端子.....	16
コントロール.....	16

はじめに

この度は、Headway EDB-2 H.E をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

本機は、アコースティックプリアンプ、イコライザー、アンチフィードバック、ブレンダー、ハーモニックエンハンサー、そしてピックアップやマイクにファンタム電源を供給する機能を装備した製品です。

特徴

- ・H.E.A.T 機能搭載: Harmonic Enhanced Analogue Technology の略で、ユーザーの好みによる自然なハイハーモニクスを付加することができます。
- ・改良されたクラス A 入力と明瞭さと温かさを兼ね備えた 32dB ゲインコントロールを超ローノイズで実現しました。
- ・2 系統のインタラクティブ 5 バンド EQ に加え、2 チャンネルを個別にミュートするスイッチを装備しています。
- ・チャンネル1には TRS フォーン端子による 11V、チャンネル2の XLR 端子には 48V と 11V のファンタム電源を供給できます。
- ・Send-Return によるエフェクトループ接続ができます(チャンネル1のみ)
※このエフェクトループは Send からエフェクトに送ったあとに Return に信号を戻す必要があります。特にチューナーを接続する場合には、必ずチューナーのアウト端子から Return 端子へ信号を戻さないと音が鳴らなくなるので注意してください。
- ・チャンネル1、2のバランス/アンバランス信号を、XLR 端子からバランス信号に変換して出力できます。
- ・調整可能な Notch Filter により、耳障りなハウリング、共鳴音、その他のノイズをカットできます。
- ・Phase Reverse、Lift スwitchにより、位相のずれた音やハウリング、グラウンドループによるハムノイズを回避します。
- ・Range スwitchにより、各楽器に合わせた低域をコントロールし、なおかつハンドリングノイズやハウリングを防ぎます。
- ・Slow Power オン機能により、電源オン時のノイズをカットします。
- ・BBC Audio design パネルレイアウト&コントラストによる視認性の良いパネルデザイン。
- ・バッテリー付属。またヨーロッパ、北米、日本などで使用できる 100V~240V の電源アダプターを同梱。
- ・プリアンプとしてマイクスタンドに取り付けたり、付属のクリップでベルトに装着したりでき、さらに直置きできるようにラバーフィートを装着しています。
- ・アルミニウム合金による頑丈、かつ軽量、超コンパクト構造を実現しました。

- ・操作性がよく、かつ安定性のあるノブを採用しています。

注意

- ・EDB-2 H.E は、直接スピーカーやヘッドフォンを鳴らすことはできません。必ず出力にパワーアンプに相当するものを接続してください。
- ・EDB-2 H.E の入力(チャンネル1, 2, Return など)にパワーアンプ出力を絶対に接続しないでください。内部機器が破損する場合があります。
- ・付属の電源アダプター以外のパワーサプライを使用すると破損する恐れがありますので必ず付属のものをお使いください。
- ・本体に水分、液体がかかると破損する恐れがあります。
- ・正常に動作しない、あるいはショートする恐れがあるのでスイッチを中途半端な位置で止めないでください。

電源のオン/オフ、その他

- ・GAIN、MASTERなどの音量コントロールを0(左いっぱい)にし、MUTEスイッチをオン(音が出ない)の状態にしてから、POWERスイッチを操作してください。
- ・POWERスイッチをオンにする前に、すべてのケーブルを接続しておいてください。
- ・EDB-2 H.E を鳴らす音響装置も電源をオフにしておきましょう。
- ・ファンタムスイッチを操作する際には、MASTERを0にしましょう。
- ・POWERスイッチをオフにする前にEDB-2 H.Eを鳴らす音響装置も電源をオフにしておきましょう。
- ・電池の残量が低下すると、本体パネル上の「Low Battery」ランプが点灯します。速やかに電池を交換してください。電池はアルカリタイプを推奨しています。

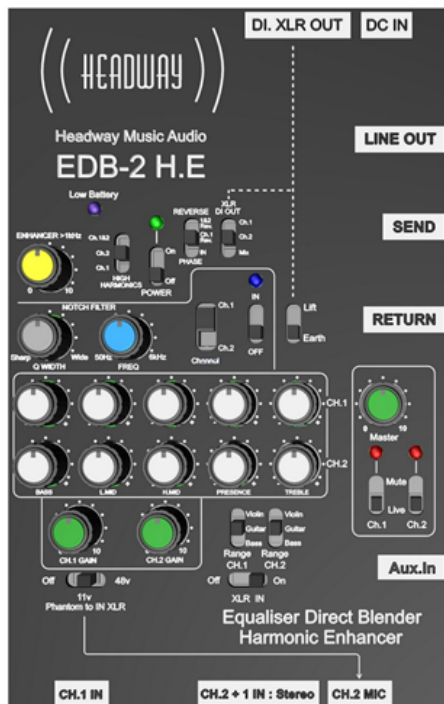
EDB-2 H.E 各部の名称・前面 (1)

DC IN
電源アダプターを接続します。お使いの地域に合ったプラグのものをお使いください(付属)。

DI.XLR OUT
ミキサーなどへ接続するバランスアウトです。出力先からファンタム電源は受けられません。



LINE OUT
ローインピーダンスのラインアウトです。モノラルでCH1と2がミックスされて出力されます。



SEND
エフェクトへ送るSEND端子です(モノ)。チューナーを接続することもできますが、必ずチューナー出力をReturnへ接続してください。

RETURN
エフェクトから信号を入力するリターン端子です(モノ)。

AUX IN / iphone IN
3.5mmの端子を接続できるオグジュアリー入力です。

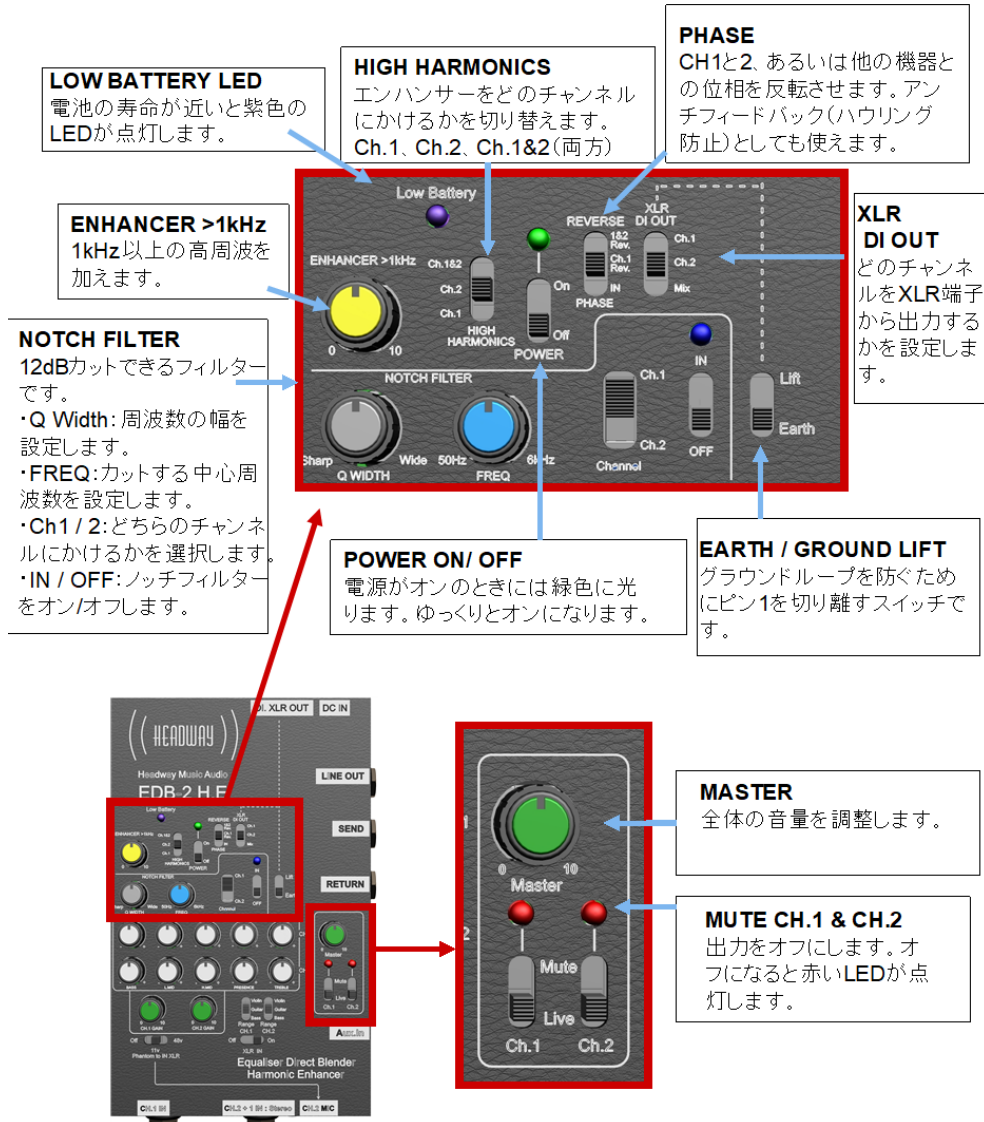


CH2 IN
バランス入力です。XLR端子です。ファンタム電源(48V、11V)を供給できます。

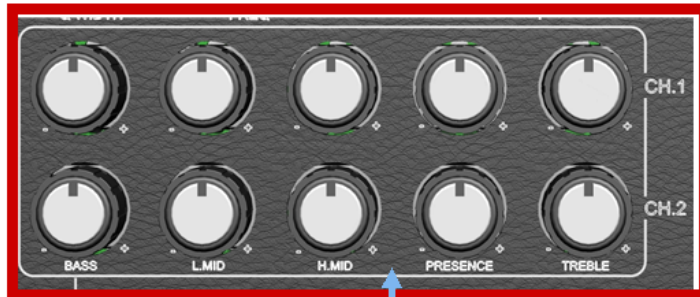
CH.1 IN
アンバランスモノ/TRSモノ入力です。TRSフォーンでは、エレクトレットコンデンサーアクティブピックアップにファンタム電源を供給できます

STEREO / MONO
CH2のアンバランス入力です。単独で入力するとモノですが、CH.1に端子が接続されてない場合、ステレオ用端子を使ってステレオで信号を入力できます。

EDB-2 H.E 各部の名称・前面 (2)



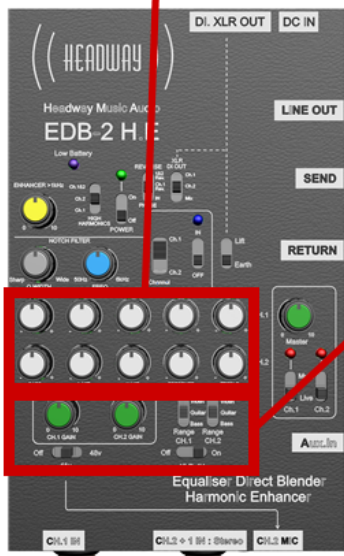
EDB-2 H.E 各部の名称・前面 (3)



5 BAND EQ

CH.1、CH.2それぞれ独立した5バンドのEQです。
各バンドの周波数と可変ゲインは次の通りです(CH.1、2とも同じ)

TREBLE @ 10kHz +/- 13dB
 PRESENCE @ 2.8kHz +/- 7dB
 H.MID @ 880Hz +/- 12dB
 L.MID @ 590Hz +/- 13dB
 BASS @ 120Hz +/- 12dB
 (BASS.45Hzで測定すると +/-16dB)



INPUT GAIN

可変ゲイン: 0dB~32dB
(CH.1、2とも同じ)

RANGE FILTER

ハイパス(ローカット)フィルターです(CH.1、2とも同じ)。
Violin @ 192Hz
Guitar @ 85Hz
Bass @ 41Hz

XLR PHANTOM SWITCH

CH.2のXRL端子にファンタム電源を送ります。
OFF / 11V / 48Vから選択できます。

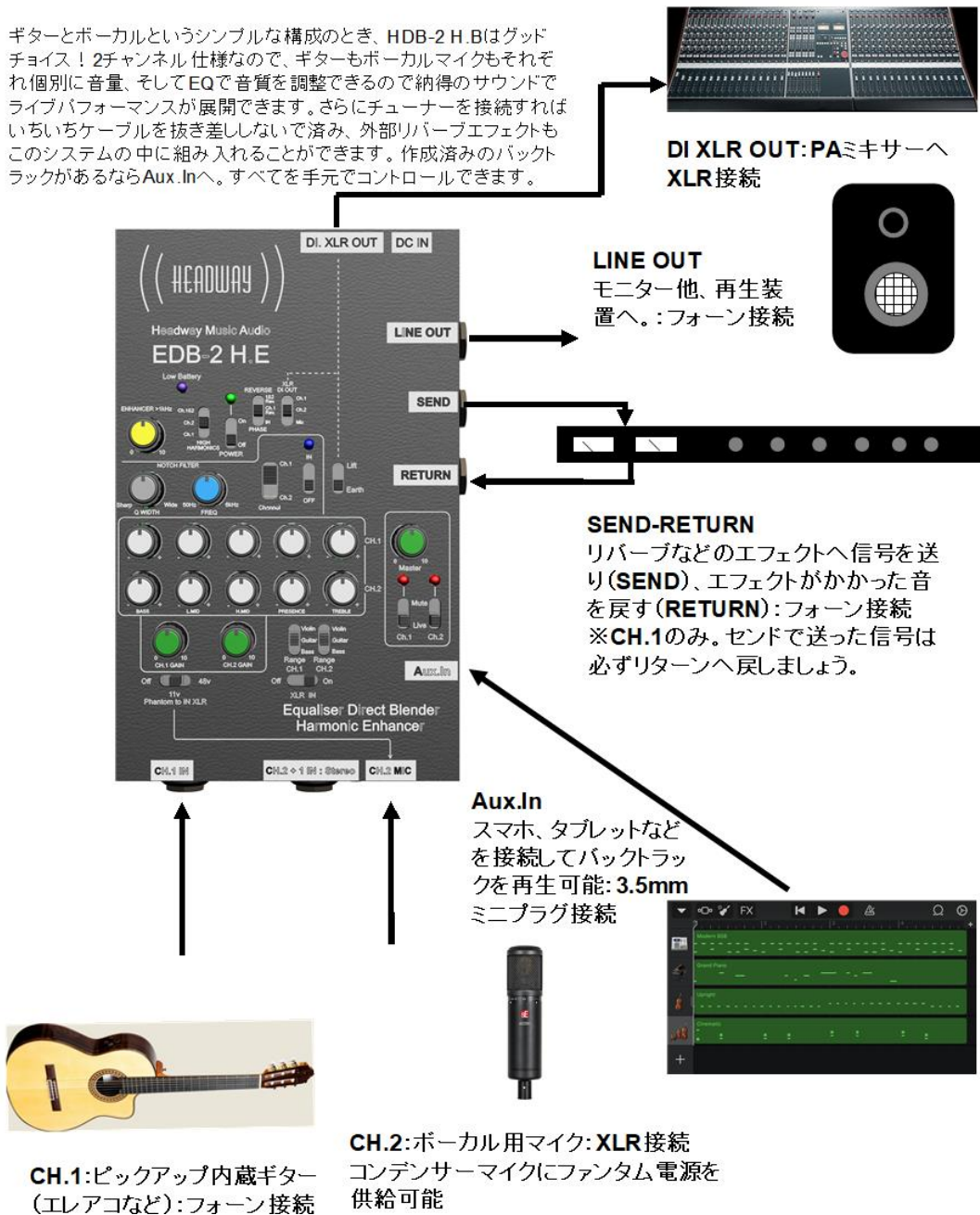
XLR SWITCH / MIC IN

CH.2のXRL端子をオン/オフします。

シチュエーション別使用法

(1) ギター弾き語りライブ

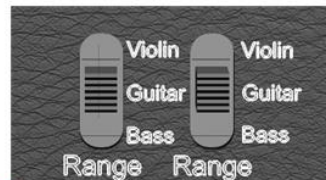
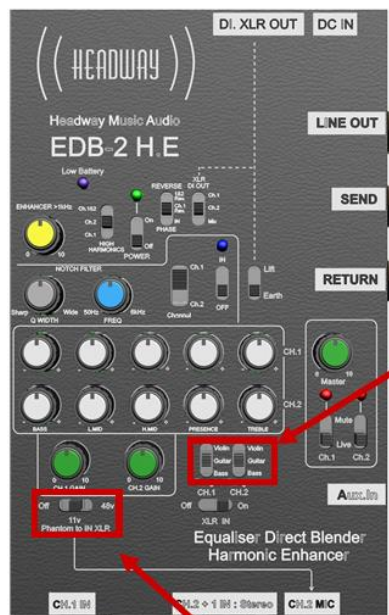
ギターとボーカルというシンプルな構成のとき、HDB-2 H.Bはグッドチョイス！2チャンネル仕様なので、ギターもボーカルマイクもそれぞれ個別に音量、そしてEQで音質を調整できるので納得のサウンドでライブパフォーマンスが展開できます。さらにチューナーを接続すればいちいちケーブルを抜き差ししないで済み、外部リバーブエフェクトもこのシステムの中に組み入れることができます。作成済みのバックトラックがあるならAux.Inへ。すべてを手元でコントロールできます。



シチュエーション別使用法

(2) エレアコこだわりサウンドメイキング

アコギのインストというジャンルは繊細なサウンドだけに、ライブでもレコーディングでもいかにイメージするサウンドを出せるかが最大のポイントです。そのような場合、エレアコのピエゾピックアップで輪郭を、コンデンサーマイクでニュアンスを含んだ響きを収録しミックスすれば、理想のサウンドに行きつけるはず。EDB-2 H.Eがあれば、すっきりとセッティングが可能です。



低域をコントロールする **Range**スイッチで、楽器の特性に合ったクリーンで音楽的なギターを作ります。



CH.1:ピックアップ内蔵ギター (エレアコなど): フォーン接続



CH.2:マイク: XLR接続
コンデンサーの場合にはファンタム電源をオンに。
(Phantom to IN XLRを「48V」にする)



マイクスタンドナットを使ってマイクスタンドに装着すると手で操作できて便利です。

シチュエーション別使用法

(3) ウッドベースのサウンドをグレードアップ！

ウッドベースのウォームでパンチのあるサウンドを、バンドの中でも響かせるには、ピエゾピックアップとコンデンサーマイクをミックスする二刀流がオススメ！

EDB-2 H.EならピエゾをCH.1INに、そしてコンデンサーをCH.2INに接続してそれぞれに必要な電圧のファンタム電源を供給できます。

さらに、完全に独立したEQにより、それぞれのマイクの特性に合った音作りが行えるのはもちろん、ゲインコントロールによりピエゾとコンデンサーの音量バランスを調整することで独自のトーンを作り出せます。

また、コンデンサーマイク特有のハウリングも、NOTCH FILTERによるポイントを絞ったフィルタリングにより、音質を極力変化させることなくハウリングを抑制でき、よりアグレッシブな演奏に集中できます。



CH.2 IN
コンデンサーマイク
(ファンタム電源48V供給可)



CH.1 IN
アクティブ・ピエゾ・コンタクト・ピックアップ
(ファンタム電源11V供給可)



EDB-2 H.Eの2チャンネル独立EQとチャンネル選択可能なノッチフィルターで綿密なサウンドメイキング、ハウリング対策が可能

シチュエーション別使用法

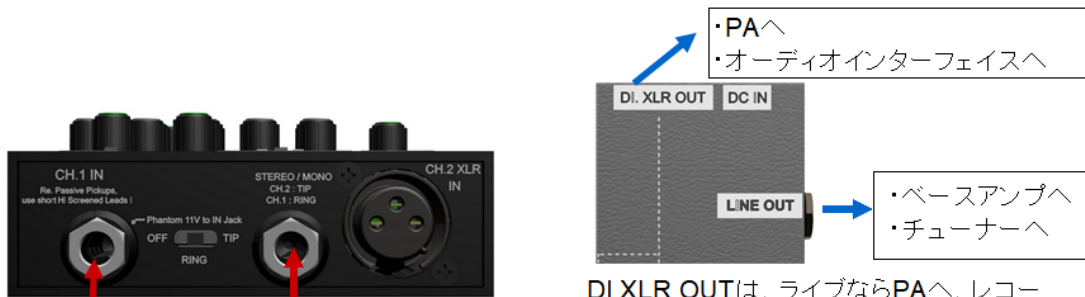
(4) エレキベースの持ち替えを楽に、そしてサウンドに妥協なく！

曲調やプレイに合わせて、フレットレス、多弦、パッシブ/アクティブというようにベースを持ち替えるベースистは多い。そこで問題になるのが、楽器ごとにゲインやトーンが異なるため、持ち替えのたびに調整しなくてはならないこと。

また、ジャックの抜き差しノイズを考えて、アンプのボリュームを絞ったり、PAに持ち替える場合図をしたりなどわずらわしいことも多い。

EDB-2 H.Eを使えば、2つのベースを挿しっぱなしにしたままで、使うだけをオンにできるのでスムーズに持ち替えられます。もちろん、ゲインやEQは独立して調整可能なので、思い通りのサウンドでライブコーディングができます。

ライブはもちろん、自宅でも練習に専念できます。



DI XLR OUTは、ライブならPAへ、レコーディングならオーディオインターフェイスへ。LINE OUTは、ライブならベースアンプに(ただしゲインに注意)、レコーディングならチューナーに接続するなど、様々な応用が効きます。



CH.1 IN
例えばエレキタイプのベースを接続

CH.2 IN
例えばアップライトタイプのベースを接続

CH.1と2は個別にオン/ミュートできるので、繋ぎっぱなしにしておき、使うだけオン(Live)にすればスムーズに持ち替えでき、ノイズを出す心配もありません。



EDB-2 H.Eの2チャンネル独立EQを使えば、フレットドはドンシャリに、フレットレスはメロウに、というその楽器の特性を生かした音作りができ、曲をさらに盛り上げることができる。



シチュエーション別使用法

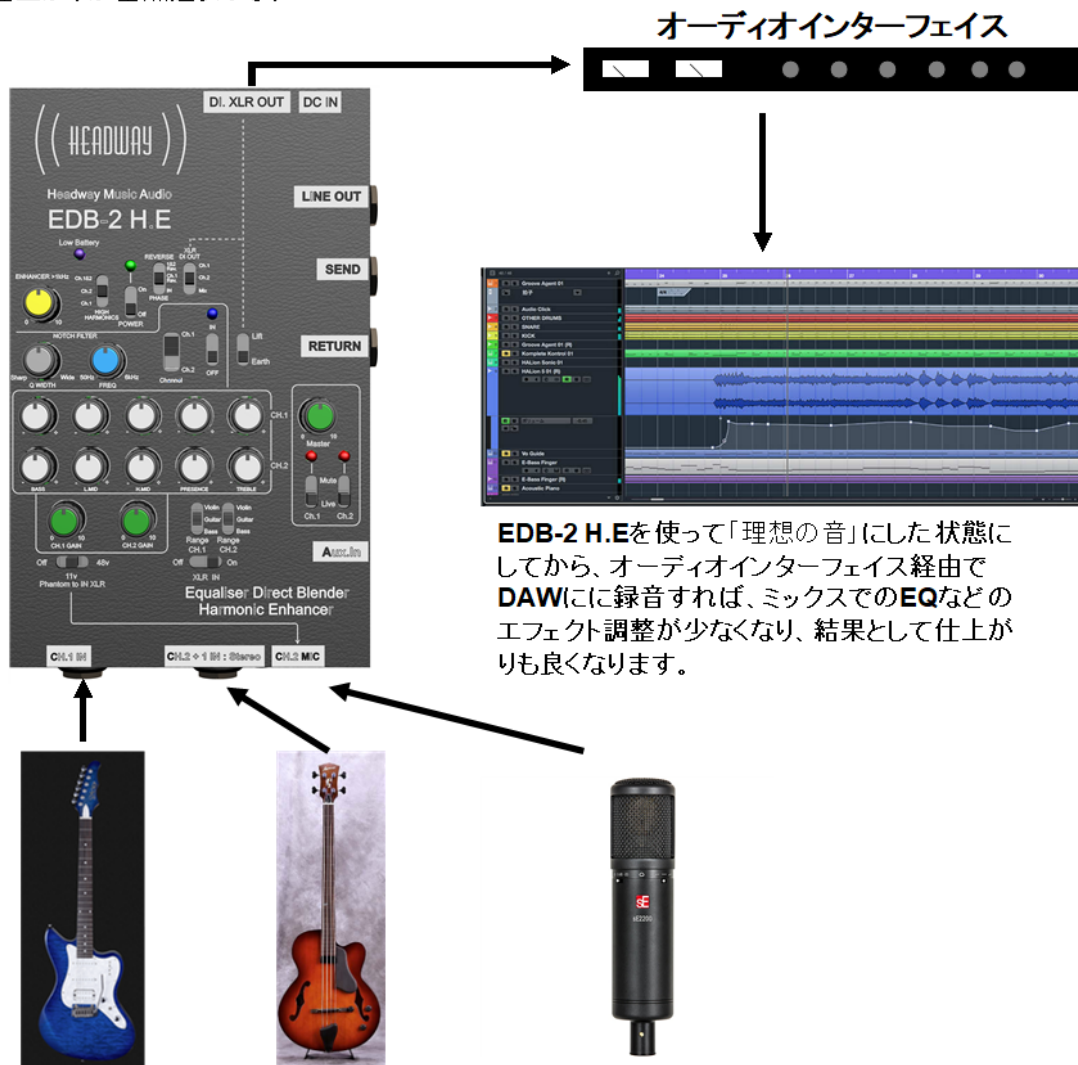
(5) 宅録の音、もっと良くしたい！

ギターをオーディオインターフェイスにつないで、DAWのアンプシミュレーションソフトで音作りして録音していると「悪くないけど、ちょっと違う・・・」ということありませんか？

ボーカルは素の状態ですべてで録ってミックスで色付けするのが基本、とわかっているけど「モニターに返ってくる自分の声に違和感があって、うまく歌いきれない・・・」なんていうことありませんか？

エレキベース。とりあえずラインで録って後でなんとかしよう・・・でも「ミックスでいくらローをブーストしても全然ベースらしいローが出てこない・・・」これもありがちですね。

宅録でお悩みの方、EDB-2 H.Eでちゃんと音作りをしたうえで、録音すればミックスでの仕上がりが全然違うんです！



各部の名称と機能

入力端子

・**CH.1 IN(チャンネル1)**:標準フォーン端子(口径:1/4 インチ、6.35mm)のハイインピーダンス(約 6.8 メガオーム)入力です。アクティブ/パッシブタイプ、ダイナミック、エレクトレットコンデンサー、電気楽器などを接続します。入力端子は TRS フォーンタイプで、Phantom 11V to IN JACK スイッチで、RING/TIP 経由のファンタム電源(11V)を供給できます。お使いの機器のピックアップのファンタム構成については、お使いの機器の取り扱い説明書などをご確認ください。

・**CH.2+1:STEREO(チャンネル2)**:標準フォーン端子(口径:1/4 インチ、6.35mm)のハイインピーダンス(約 6.8 メガオーム)入力です。入力端子は TRS フォーンタイプで CH.1 に何も接続されていないときには、ステレオ信号を入力し、チャンネル 1、2 として独立して GAIN や EQ 調整ができます(ただし出力はモノラルに統合されます)。チャンネル1に楽器などが接続されているときには、独立したチャンネル 2 のモノ入力として使用できます。

・**CH.2 MIC(チャンネル2)**:ローインピーダンス(約 3.4 キロオーム)XLR 端子入力です。ダイナミック、リボン、コンデンサー、エレクトレットコンデンサーなどのマイクを入力します。XLR IN スイッチでこの入力を単独でオン/オフできます。また、Phantom to XLR IN スイッチで、ファンタム電源をオフまたは電圧を 48V と 11V で切り替えることができます。

※XLR 端子のピン配線:Pin 1: Earth / Ground、Pin 2: +(Plus)シグナル、Pin 3: -(Minus)シグナル

・**AUX IN/iphone**:スマホ、タブレット、ポータブルプレーヤーなど再生装置を接続できる 3.5mm ミニプラグ端子です。EQ の後ろに接続されます。

・**RETURN**:標準フォーン端子(口径:1/4 インチ、6.35mm)の入力です。SEND からエフェクトなどへ信号を送った後、EDB-2 H.E 本体に戻すのに使用します。チャンネル1にのみ有効です。

出力端子

・**DI XLR OUT**: XLR 端子のバランス出力です。

※XLR 端子のピン配線: Pin 1: Earth / Ground、Pin 2: +(Plus)シグナル、Pin 3: -(Minus)シグナル

・**LINE OUT**: 標準フォーン端子(口径: 1/4 インチ、6.35mm)のローインピーダンス出力です。

・**SEND**: 標準フォーン端子(口径: 1/4 インチ、6.35mm)の出力です。エフェクトなどへの信号の送りに使用します。チャンネル 1 にのみ有効で、この出力からの信号はエフェクトなどを経て RETURN 端子へ戻す必要があります。

コントロール

・**POWER**: 本体の電源をオンにします。黄緑の LED ランプが点灯します。急激に電源が入りノイズが発生しないように、少しずつオンになるようになっています。

・**REVERSE**: 出力の位相を反転させます。

IN: 通常の状態です。

Ch.1 Rev: チャンネル 1 の位相を反転させます。ハウリングが解消されることがあります。

Ch.1&2 Rev: チャンネル1と2の両方とも位相を反転させます。

・**XLR DI OUT**: XLR DI OUT から出力する信号を CH.1、CH.2 または両方から選択します。

LIFT/EARTH: グラウンドループを防ぐためにピン 1 を切り離すスイッチです。通常は Earth 側にしており、ノイズが発生したときには LIFT にしてみてください。ノイズが軽減する可能性があります。

・**GAIN**: 各チャンネルのゲインを調整します。可変幅は両チャンネルともに 0dB~32dB です。

・**5 BAND EQ**: CH.1、CH.2 それぞれ独立した 5 バンドの EQ です。

各バンドの周波数と可変ゲインは次の通りです(CH.1、2 とも同じ)

TREBLE @ 10kHz +/- 13dB

PRESENCE @ 2.8kHz +/- 7dB

H.MID @ 880Hz +/- 12dB

L.MID @ 590Hz +/- 13dB

BASS @ 120Hz +/- 12dB

(BASS.45Hz で測定すると +/-16dB)

・**NOTCH FILTER**: 最高 12dB のカットできるフィルターです。

・Q Width: 周波数の幅を設定します。

・FREQ: カットする中心周波数を設定します。

・Ch1 / 2: どちらのチャンネルにかけるかを選択します。

・IN / OFF: ノッチフィルターをオン/オフします。

・**ENHANCER**: 信号に 1kHz 以上の高周波を加えます。HIGH HARMONICS スイッチでエンハンサーをどのチャンネル(Ch.1、Ch.2、Ch.1&2(両方))にかけるかを切り替えます。

・**RANGE**: 楽器の特性に合わせてスムーズに音作りができる: ハイパス(ローカット)フィルターです(CH.1、2 とも同じ)。下記周波数より下の周波数がカットされます。

・Violin @ 192Hz

・Guitar @ 85Hz

・Bass @ 41Hz

・**MASTER**: 本体から出力される全体の音量を調整します。

・**MUTE** : CH.1 と 2 の出力を独立してオン(Live)/オフ(Mute)します。

日本総輸入代理店

株式会社フックアップ

東京都台東区上野 1-2-2 信井ビル別館 3F (〒110-0005)

Tel: 03-6240-1213

*製品に関するお問い合わせは以下をご参照ください。

<https://hookup.co.jp/support/contact>